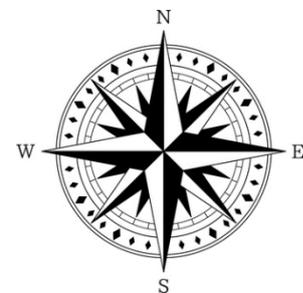


らしんばん
羅針盤



R5. 11 藤枝特別支援学校進路課だよりNo.8

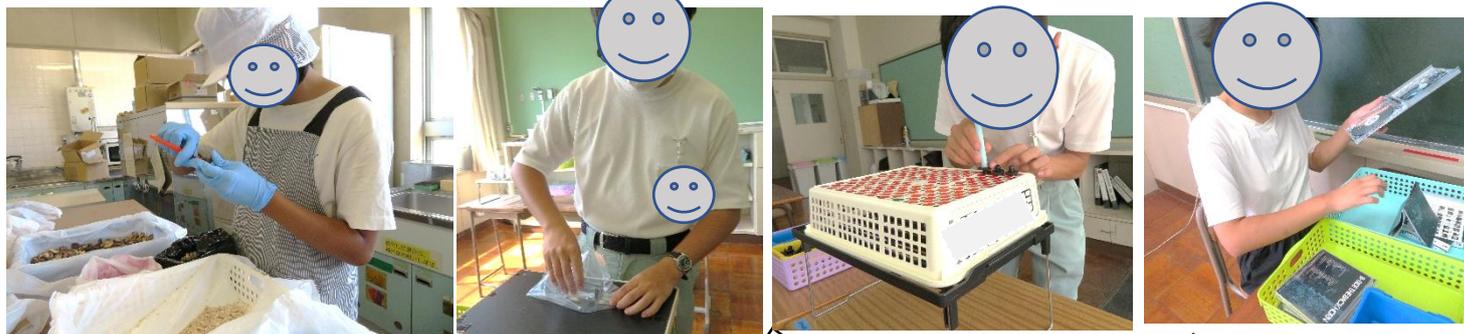
文責：小林

高等部2年生 第2回集中作業・産業現場等における実習の報告

高等部3年生に続き、2年生が9月25日（月）から10月6日（金）までに集中作業を、また10月10日（火）から20日（金）の2週間を基本として、産業現場等における実習（職場実習）を実施しました。2年生の実習は1年生からのステップアップという位置付けで「経験を積み重ねる」「自分の適性を知る」「進路の方向性を考える」の3つの目標をもって行いました。

前回までの実習の経験・反省を通して自分の得意なことや課題を踏まえ、各自目標を設定して取り組みました。

＜集中作業の様子＞



しいたけの軸切りの作業では、手指を使う作業の正確さに加え、良品と不良品を見極める基準や報告の際の言葉遣いなど、その場その場での判断力が必要となります。衛生面にも気を付けて取り組みました。

「手順や指示どおりに作業をする」を徹底して取り組みました。挨拶や返事、報告の声の大きさや言葉遣いも常に意識しました。

手を止めず作業スピードを一定に保つことを目標に取り組みました。作業だけでなく休憩時間の過ごし方も大切になってきます。

＜職場実習の様子＞



スーパー（青果部）

製造（梱包）

ディーラー（洗車）

事務

食品製造

物流（仕分け）



これまでの経験から緊張感をもちながらも初めての実習先であっても落ち着いた様子で、自身の課題に向き合いながら実習に取り組むことができた生徒が多かったように感じます。今回で入学後3回目の実習でした。実習を通して自分に適した職業の分野は何なのかを理解することで、進路選択に悩みながらも自分が卒業後にどのような生活・働き方をしているかのイメージが少しずつ見え始めてくる時期です。実習を経て卒業後の進路先に直接繋がる次回の3年時の実習に向けて、学校生活や家庭での過ごし方を見つめ直し、得意なことを伸ばしたり課題を少しでも減らしたりできるよう、実際に行動に移す姿が見られ成長を感じます。

PTA 主催 進路学習会 実施報告

11月2日（木）にPTA主催の進路学習会がありました。講師に社会福祉法人「ハルモニア」成人部門長の増田祐介様をお招きし、60人ほどの保護者の皆さんが参加しました。

増田様の『地域社会の中で誰もがバリアフリーな暮らしを営むことができるように』という理念について実例を交えたお話に、聞き入る出席者の表情が印象的でした。

感想の一部を御紹介します。

- ・何か一つでもわが子の強みとなるものを見つけて伸ばしていきたいと思いました。そして、色んなことをひとりで抱え込まずに、たくさんの周りの方に支援・力をお借りしていきたいと思いました。
- ・事業所の説明会等で聞くお話ではなく、具体的にいろいろな利用者の方々のお話を聞くことができてよかったです。まだ小学生で出来ないこともたくさんありますが、「無理でしょ」と決めつけずに子供のペースに合わせてチャレンジできたらいいな、と思います。改めていろいろな人との出会い、環境そして体験や経験はとても大事な、と感じました。
- ・直すことにフォーカスしがちだったので、強みにならないかと見方を変えようと思いました。



【お知らせ】

羅針盤9月号で御紹介した、福祉系大学校「カレッジまどか」の説明会があります。

日時：12月9日（土）AM10:00～11:00

場所：放課後等デイサービストライアングル

○興味のある方は担任を通じて進路課までお知らせください。案内をお渡しします。

※福祉系大学校とは・・・

高等部を卒業したけどもう少し学びを深めたい、社会で生きる力を身に付けたい等、生活訓練2年間、就労移行支援事業2年間を活用した最長4年間の学びの場です。

（障害福祉サービスの利用となり、卒業・修了しても大卒資格は得られません）